

未来に向かう力を育む家庭教育支援・子育て支援の手引書（仮題）について

1. 手引書作成のねらい

未来に向かう力の育成についてじっくりと聞いたり考えたりしたい保護者や、忙しい等の理由から子育て講座などに参加できない保護者など、様々な状況の保護者へ、幅広く、未来に向かう力の育成について伝える

保護者の状況に応じて、伝えるための様々な取組みが必要

府内の市町村において、自治体担当者が保護者支援の取組みを企画したり、支援人材が実際の講座を開いたり、保護者に支援や啓発ができるように、**手引書**を作成

手引書を参考にして…

市町村の実情や課題に応じた取組みの実施

- ・ 講師を招いた講演会の開催
- ・ 親学習教材を活用した地域人材による講座の開催
- ・ リーフレット「乳幼児期に育みたい！未来に向かう力」を活用した、幼稚園・保育所・認定こども園、定期健診や個別訪問等で、保護者支援に関わる人材からの支援や啓発 など

2. 配布対象者

市町村で、子育て中の保護者への支援に関わる自治体職員や、実際に支援を行う方々

3. 構成（案）

- 保護者に対する支援方法の組み合わせ方や、支援の具体例等を掲載する。
- 主な項目
 - 未来に向かう力とは
 - 支援するにあたって
 - 自治体で取組むにあたって
 - 取組の組み合わせ方の例
 - 講演会等の企画から実施までの流れの例
 - 講座等の企画から実施までの流れの例（親学習を例として）
 - 未来に向かう力育成に向けた保護者支援の具体例
 - 参考資料（保護者へのアンケート例など）